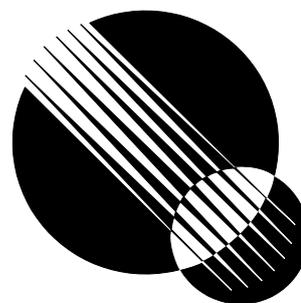


公益社団法人
日本放射線技術学会中部支部
2024年度 中部支部会誌



- 巻頭言
- 第17回中部放射線医療技術学術大会の案内
- 2024年度事業報告
- 2024年度会計報告
- 2024年度研究会活動報告、トピックス
- 2025年度事業計画
- 2025年度予算案
- 庶務報告（役員名簿、会員動向、表彰報告）
- 総務委員会・理事会議事録



巻頭言

変革を恐れず、未来を創る



中部支部支部長 大橋 一也

名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院

2023 年度より日本放射線技術学会中部支部の支部長を拝命しております。名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院の大橋一也です。会員の皆様には、日頃より学運営にご協力いただき、深く感謝申し上げます。支部長を拝命してから、時間が許す限り地方支部の学会や研究会に足を運び、オンラインイベントもチェックさせて頂いておりますが、各支部に非常に魅力的な企画が多く、中部支部が見習うべき点も多くありましたので、今後は各地方支部と連携し、会員の皆様の満足度を上げるために、企画運営していきたいと思っております。

日本放射線技術学会は、医療を取り巻く環境の変化に対応して大きな変革の時を迎えています。放射線技術の進化、AI の導入、そして人材育成のあり方など、私たちが対応すべき課題は多岐にわたります。この変革の時代において、私たちは現状維持に甘んじるのではなく、新たな価値を創造し続ける必要があります。

AI やディープラーニングの進化により、画像診断の分野は飛躍的に発展しています。これに伴い、私たちの役割も変わりつつあります。単なる画像撮影技術の向上だけでなく、画像データを活用した診断支援や、AI との協働による新たな業務フローの確立が求められています。中部支部では、今年度は新たにデータサイエンス研究会を発足し、さらに最新技術の情報共有を目的とした中部支部学術セミナー(シブセミ)を通じて、会員の皆様が時代の変化に適応し、さらなるスキルアップができる環境を整えていきます。

また、技術革新に対応するためには、優れた人材の育成が不可欠です。特に若手の育成は、私たちの業界の未来を左右する重要な課題です。中部支部では、若手が積極的に学び、成長できる場を提供するとともに、ベテランが培ってきた知識と経験を次世代へと継承する仕組みを強化していきます。BLUE-DOLPHINS セミナー(Basic Level Understanding Education - Delivery Of Lecture Performance & Hands-on IN Suzuka)(ブルドル)と若手放射線技師のための研究サポートセミナー(ワカサポ)をメインとして、各研究会やハンズオンセミナーを充実させ、経験の浅い技師でも安心してスキルを磨ける環境を整えてまいります。

「変革」という言葉は、時に不安を伴うものですが、それは同時に新たな可能性を開くチャンスでもあります。私たちは変化に適応するだけでなく、自ら変革を生み出し、業界の未来を切り拓く存在でなければなりません。中部支部では、会員の皆様とともに、学び、成長し、新たな価値を創造する場を提供していきます。

第 17 回中部放射線医療技術学術大会 (CCRT) のお知らせ

第 17 回中部放射線医療技術学術大会
第 59 回 公益社団法人 日本放射線技術学会中部支部学術大会
副大会長 山崎 暁夫

開催概要

名 称	第 17 回中部放射線医療技術学術大会 第 59 回日本放射線技術学会中部支部学術大会 第 33 回中日本地域放射線技師学術大会
大会テーマ	「USEFUL FOR TOMORROW'S PRACTICE!」
会 期	2025 年 11 月 15 日(土)～11 月 16 日(日) オンデマンドは 11 月 23 日～30 日予定
会 場	鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパス 三重県鈴鹿市岸岡町 1000-1
演題募集期間	2025 年 5 月 7 日～8 月 31 日
大会長	武藤 裕衣 (第 33 回中日本地域放射線技師学術大会 大会長) 鈴鹿医療科学大学
副大会長	山崎 暁夫 (第 59 回日本放射線技術学会中部支部学術大会 大会長) 三重大学医学部附属病院
実行委員長	山田 剛 三重大学医学部附属病院

2024年度 中部支部事業報告

1. 第 58 回日本放射線技術学会中部支部学術大会（第 16 回中部放射線医療技術学術大会）を開催した。
会期：2024 年 12 月 7 日（土）～8 日（日）
会場：じゅうろくプラザ（岐阜市）
参加者：854 名
2. 2024 年度第 1 回支部学術セミナーを開催した。
会期：2024 年 5 月 25 日（土）
会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋駅前 3F ホール 3A ハイブリッド開催
参加者：現地 28 名，Web78 名
3. 2024 年度 第 2 回支部学術セミナーを開催した。
会期：2025 年 1 月 11 日（土）
会場：三重県松阪市 フレックスホテル ハイブリッド開催
参加者：現地 52 名，Web62 名
4. 2024 年度 CT technical boot camp を開催した。（日本 CT 技術学会共催）
会期：2024 年 9 月 7 日（土），8 日（日）（予定）
会場：金大病院 CPD センター
参加者：32 名
5. 2024 年度 若手放射線技師のための研究サポートセミナーを開催した。
会期：2024 年 6 月 12 日（水）18：30 ～，6 月 26 日（水）18：30 ～，
12 月 19 日（木）18：30 ～
会場：Web 開催
参加者：13 名
6. 2024 年 若手，学生向けセミナーおよび BLUE-DOLPHINS セミナーを開催した。
会期：2024 年 7 月 27 日午後
会場：鈴鹿医療科学大学
内容：CT と画像のベーシックハンズオンセミナーおよび入会促進事業
参加者：41 名
7. 第 96 回乳房撮影ガイドライン・精度管理研修会を開催した。
（教育委員会，撮影部会，NPO 法人日本乳がん検診精度管理中央機構共催）
会期：2024 年 8 月 17 日（土），18 日（日）

会場：名古屋医療センター

参加者：46名 ※1名台風の影響による交通機関の運休により参加出来ず。

8. 支部技術セミナーを開催した。

1) 第1回 技術セミナー

(【速報企画】能登半島地震 診療放射線技師 DMAT 災害派遣報告会)

会期：2024年4月4日 18時30分より

会場：Web開催

参加者：100名

2) 第2回 技術セミナー (2024年度 第1回アンギオ研究会セミナー)

会期：2024年5月11日(土) 13:30～16:40

会場：Tsudoico 名駅東 Room D ハイブリッド開催

参加者：301名

3) 第3回 技術セミナー (第59回乳房画像研究会)

会期：2024年6月23日(日) 13:30～16:20

会場：富山大学附属病院総合臨床教育センター2F 多目的研修室 ハイブリッド開催

内容：会員発表, コミュニケーションスキルに関する講演, 乳癌診療と画像診断に関する講演

参加者：110名

4) 第4回 技術セミナー (CT研究会東海 最前線報告会)

会期：2024年7月4日 18:30～20:30

会場：Web開催

参加者：97名

5) 第5回 技術セミナー (第8回 中部支部核医学セミナー)

会期：2024年7月28日(日) 9:30～16:30

会場：岐阜市 じゅうろくプラザ (岐阜市文化産業交流センター)

内容：統計学の基礎から統計ソフトの使用方法

参加者：21名

6) 第6回 技術セミナー (第83回MR研究会)

会期：2024年8月3日(土) 13:40～17:00

会場：石川県立中央病院 3F 会議室1

内容：Deep Learning Reco の使いどころ

参加者：35名

7) 第7回 技術セミナー (第50回 中部支部放射線防護セミナー)

会期：2024年9月3日(火) 19時より

会場：Web開催

内容：診断透視装置における線量管理の実際と各メーカーの線量低減の取り組みなどについて

参加者：53名

8) 第8回 技術セミナー (2024年度第1回中部超音波検査フォーラム)

会期：2024年9月21日(土) 9:00～16:00

- 会場：金沢医科大学病院 橘ホール（病院中央棟 4F）
参加者：12名
- 9) 第9回 技術セミナー（第71回画像研究会）
会期：2024年9月28日（土）14：00～17：05
会場：名古屋市立大学病院 中央診療棟3階 大ホール
内容：初歩の画像処理②，最新画像処理の画質評価
参加者：44名
- 10) 第10回 技術セミナー（第2回アンギオ研究会セミナー）
会期：2024年10月26日（土）13：30～16：45
会場：石川県立中央病院 大会議室 ハイブリッド開催
内容：救命に役立つ放射線技術学
参加者：235名
- 11) 第11回 技術セミナー（2024年度三重県放射線治療研究会）
会期：2024年10月26日（土）
会場：三重県立総合医療センター
内容：IGRTの運用と品質管理について，施設見学。
参加者：61名
- 12) 第12回 技術セミナー（第72回画像研究会）
会期：2024年11月23日（土）14：00～17：05
会場：金沢大学医薬保健学域保健学類 1号館 2階 1220 講義室
内容：初歩の画像処理，最新画像処理の画質評価
参加者：30名
- 13) 第13回 技術セミナー（CT研究会定例会【北陸】）
会期：2024年11月23日（土）14：00～17：00
会場：石川県立中央病院 3階会議室
内容：CT検査における被ばくの最適化を考える
参加者：19名
- 14) 第14回 技術セミナー（愛知県放射線治療研究会）
会期：2024年12月15日（日）12：20～17：10
会場：Web開催
内容：「品質管理」と「患者固定具作成法」
定員：152名
- 15) 第15回 技術セミナー（第9回中部核医学セミナー）
会期：2024年12月15日（日）13：30～17：00
会場：Web開催
内容：自施設のSPECT・収集処理条件を見直そう ～心臓編～
定員：27名
- 16) 第16回 技術セミナー（第51回 中部支部放射線防護セミナー）
会期：2024年12月15日（日）13：30～

会場：藤田医科大学 6号館

内容：診断領域(一般撮影, CT, IVR)における線量計算

定員：10名

17) 第17回 技術セミナー (CT研究会 東海 CT関連論文の抄読会)

会期：2025年1月16日(木) 18時30分

会場：Web開催

内容：CT関連論文の抄読会

定員：66名

18) 第18回 技術セミナー

(2024年度 JSRT 中部支部放射線治療研究会 Webセミナー ※7県合同)

会期：2025年1月18日(土) 13:00～17:35

会場：Web開催

内容：定位放射線治療

定員：190名

19) 第19回 技術セミナー (第84回 MR研究会)

会期：2025年1月18日(土) 13:30～16:30

会場：名古屋市立大学 桜山キャンパス 医学部研究棟 11階 A講義室

内容：AI

定員：53名

20) 第20回 技術セミナー (第85回 MR研究会)

会期：2025年1月18日(土) 14:00～16:30

会場：富山県立中央病院

内容：骨盤領域のMR検査

定員：39名

9. 刊行物を発刊した.

1) タイトル：2023年度 中部支部会誌 Vol.26

発刊日：2024年4月16日 (web版のみ)

2) タイトル：支部ニュースレター “ビーム中部 2024年 第1号 CCRT 演題募集号”

発刊日：2024年8月16日 (web版のみ)

10. 支部ホームページの改修について

支部ホームページをセキュリティ対策および新しい支部統一テンプレートに従って更新した.

11. 国際学会発表者支援事業について

今年度は該当者なし

12. 支部表彰について

規程に基づき, 功労賞, 奨励賞の選考および学術大会にて表彰を行った.

功勞賞：木戸屋 栄次 (福井大学医学部附属病院)

村中 良之 (福井県立病院)

能登 公也 (金沢大学附属病院)

奨励賞：大澤 充晴 (愛知医科大学病院)

加藤 裕 (名古屋大学医学部附属病院)

木寺 信夫 (名古屋市立大学病院)

長宅 祐哉 (藤田医科大学病院)

中山 僚 (静岡県立総合病院)

平井 健太 (静岡県立総合病院)

別所 貴仁 (金沢医科大学病院)

溝口 直洋 (福井県立病院)

吉田 将人 (市立四日市病院)

2024年度 中部支部収支計算書

2024年3月1日から2025年2月末日まで

(単位：円)

科 目	2024年度予算額	2024年度決算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
1) 特定資産運用収入	0	0	0	
(1) 研究奨励資金運用収入			0	
(2) 総会学術集会等準備資金運用収入			0	
2) 会費収入	6,000,000	5,776,000	224,000	
(1) 支部正会員通常会費	5,000,000	4,118,000	882,000	
(2) 特別会費収入(支部学術集会)	1,000,000	1,658,000	△ 658,000	
(3) 特別会費収入(定期研究発表会)	0	0	0	
3) 事業収入	1,800,000	3,422,700	△ 1,622,700	
(1) 広告料収入	0	0	0	
(2) 研修会等収入	800,000	1,382,200	△ 582,200	
(3) 学術大会事業収入	1,000,000	2,040,500	△ 1,040,500	
4) 補助金等収入	1,950,000	130,000	1,820,000	
(1) 本部支部助成金収入	1,950,000	△ 20,000	1,970,000	
(2) 地方公共団体助成金収入	0	0	0	
(3) 民間補助金収入	0	150,000	△ 150,000	
5) 負担金収入	0	0	0	
(1) 負担金収入	0	0	0	
6) 寄付金収入	0	47,500	△ 47,500	
(1) 寄付金収入	0	47,500	△ 47,500	
7) 雑収入	5,000	8,981	△ 3,981	
(1) 利息収入	3,000	6,981	△ 3,981	
(2) 雑収入	2,000	2,000	0	
事業活動収入計	9,755,000	9,385,181	369,819	
2. 事業活動支出				
1) 事業費	10,130,000	9,038,233	1,091,767	
(1) 支部学術集會費	4,400,000	5,427,118	△ 1,027,118	
① 会議費	300,000	491,833	△ 191,833	
② 旅費交通費	450,000	736,348	△ 286,348	
③ 通信運搬費	50,000	0	50,000	
④ 消耗品費	50,000	13,119	36,881	
⑤ 印刷製本費	500,000	157,023	342,977	
⑥ 賃借料	800,000	1,406,580	△ 606,580	
⑦ 諸謝金	150,000	38,063	111,937	
⑧ 委託費	2,000,000	2,352,293	△ 352,293	
⑨ 雑費	100,000	231,859	△ 131,859	
(2) 定期研究発表會費	0	0	0	
① 会議費	0	0	0	
② 旅費交通費	0	0	0	
③ 通信運搬費	0	0	0	
④ 消耗品費	0	0	0	
⑤ 印刷製本費	0	0	0	
⑥ 賃借料	0	0	0	
⑦ 諸謝金	0	0	0	
⑧ 委託費	0	0	0	
⑨ 雑費	0	0	0	
(3) 表彰費	400,000	180,000	220,000	
① 表彰費	200,000	180,000	20,000	
② 学術研究助成金	200,000	0	200,000	
③ 雑費	0	0	0	

(4) 講演会等開催費	1,970,000	1,356,867	613,133	
① 会議費	150,000	76,118	73,882	
② 旅費交通費	700,000	908,810	△ 208,810	
③ 通信運搬費	200,000	16,435	183,565	
④ 消耗品費	100,000	3,503	96,497	
⑤ 印刷製本費	200,000	0	200,000	
⑥ 賃借料	300,000	187,618	112,382	
⑦ 諸謝金	100,000	34,978	65,022	
⑧ 委託費	200,000	125,455	74,545	
⑨ 雑費	20,000	3,950	16,050	
(5) 広報・会誌費	1,000,000	108,680	891,320	
① 通信運搬費	0	0	0	
② 印刷製本費	0	0	0	
③ 諸謝金	0	0	0	
④ 委託費	1,000,000	108,680	891,320	
(6) 調査研究費	2,000,000	1,815,068	184,932	
① 会議費	300,000	103,006	196,994	
② 旅費交通費	1,000,000	1,285,490	△ 285,490	
③ 通信運搬費	30,000	13,850	16,150	
④ 消耗品費	100,000	880	99,120	
⑤ 印刷製本費	100,000	19,630	80,370	
⑥ 賃借料	120,000	129,327	△ 9,327	
⑦ 諸謝金	300,000	249,805	50,195	
⑧ 委託費	0	0	0	
⑨ 雑費	50,000	13,080	36,920	
(7) 諸委員会費	310,000	150,500	159,500	
① 企画委員会	0	0	0	
(会議費)	0	0	0	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
② 編集委員会費	30,000	0	30,000	
(会議費)	30,000	0	30,000	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
③ 大会開催委員会費	0	0	0	
(会議費)	0	0	0	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
④ 表彰委員会費	0	0	0	
(会議費)	0	0	0	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
⑤ 広報委員会費	0	0	0	
(会議費)	0	0	0	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
⑥ 財務委員会費	150,000	150,500	△ 500	
(会議費)	30,000	14,900	15,100	
(旅費交通費)	120,000	132,800	△ 12,800	
(雑費)	0	2,800	△ 2,800	
⑦ 総務委員会費	0	0	0	
(会議費)	0	0	0	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
⑧ 特別委員会費	130,000	0	130,000	学術委員会
(会議費)	30,000	0	30,000	
(旅費交通費)	100,000	0	100,000	
(雑費)	0	0	0	
⑨ 委員会費	0	0	0	
(会議費)	0	0	0	
(旅費交通費)	0	0	0	
(雑費)	0	0	0	
(8) 雑費	50,000	0	50,000	
① 事業雑費	50,000	0	50,000	

2) 管理費	2,125,000	3,024,780	△ 899,780	
(1) 給料手当	0	0	0	
(2) 臨時雇用費	0	0	0	
(3) 福利厚生費	0	0	0	
(4) 会議費	120,000	177,263	△ 57,263	
(5) 旅費交通費	1,500,000	2,453,640	△ 953,640	
(6) 通信運搬費	20,000	4,438	15,562	
(7) 消耗什器備品費	200,000	267,085	△ 67,085	
(8) 消耗品費	35,000	12,184	22,816	
(9) 修繕費	0	0	0	
(10) 印刷製本費	20,000	0	20,000	
(11) 光熱水料費	0	0	0	
(12) 賃借料	150,000	97,080	52,920	
(13) 保険料	0	0	0	
(14) 諸謝金	0	0	0	
(15) 租税公課	0	0	0	
(16) 負担金（支払手数料・事務所負担金）	30,000	13,090	16,910	
(17) 委託費	0	0	0	
(18) 減価償却費	0	0	0	
(19) 管理雑費	50,000	0	50,000	
事業活動支出計	12,255,000	12,063,013	191,987	
事業活動収支差額	△ 2,500,000	△ 2,677,832	177,832	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
1) 特定資産取崩収入	0	0	0	
(1) 研究奨励資金取崩収入	0	0	0	
(2) 総会学術集会等準備資金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
1) 固定資産取得支出	0	0	0	
(1) 什器備品購入支出	0	0	0	
2) 特定資産取得支出	0	0	0	
(1) 研究奨励資金支出	0	0	0	
(2) 総会学術集会等準備資金支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出	12,945,190	0	△ 12,945,190	
当期収支差額	△ 15,445,190	△ 2,677,832	12,767,358	
前期繰越収支差額	15,445,190	15,445,190	0	
次期繰越収支差額	0	12,767,358	12,767,358	

日本放射線技術学会中部支部 2024 年度研究会活動報告

◆放射線防護研究会◆

代表世話人 上野 博之 高岡市民病院 (北陸ブロック)
 伊藤 祐介 大雄会第一病院 (東海ブロック)

1. 研究会の活動方針・活動目的

臨床業務に有益な医療放射線防護関連の情報提供、放射線管理に必要な線量測定技術の実技指導を行い、「現場で活(い)きる」知識、技術の向上に貢献する。

2. 年度内の活動記録

2024年度は放射線計測の基礎を学ぶセミナーを7月に、線量計の体験セミナーを12月に行った。

3. 最近のトピックス

ICRPにおいて次期主勧告へ向けてのタスクグループが設置されはじめ、それに伴う議論が活発に行われてきている。これらの最新の知見について関心が高まっている。

また JAPAN DRLs2025 についての議論が行われており、これに関しても多くの関心が寄せられている。

4. 今後の研究会の予定

放射線防護を考える上で線量を正しく評価する必要がある。線量評価法には種々あるが、線量計を用いた実測定が基本である。近年、測定器の技術進歩により廉価で高精度、一度の照射で複数種類の測定値が得られるものが普及しつつある。本研究会では現在までに様々な線量計の特性や取り扱い・測定値の意味などを考え、適切な取り扱いと測定法を理解していただくための実習形式のセミナーを実施してきた。2024年度は診断透視や線量測定の基礎に関するセミナーを行った。2025年度は放射線防護の基礎に関するセミナーの企画を検討している。開催時期は関係者と調整しており、決定次第ホームページなどで紹介する。

◆アンギオ研究会◆

代表世話人 石崎 宗一郎 済生会 富山病院 (北陸ブロック)
 水井 雅人 大和会 日下病院 (東海ブロック)

1. 研究会の活動方針・活動目的

本研究会は、会員の皆さんと共に学びあえる会を目指しています。IVRを中心に日進月歩の手技から、

機器の管理・医療被ばくの最適化に必要なとされる知識の普及、被ばく低減につながる診療補助が行えるよう、情報発信を行っています。診療放射線技師だからこそできる役割の普及に加え、各研究会とも連携してより良い医療の提供を目的としています。

また、本研究会は遠方で参加しにくい方にもご参加いただけるように「会場+Web.」の同時ハイブリッド開催に加えて、オンデマンド配信を行っております。

2. 年度内の活動記録

2024[令和6]年度は「会場+オンラインのHybrid研究会」を2回開催しました。

第1回は2024年5月に『“脳血管内治療の神髄”に迫る!』をテーマに名古屋で開催しました。ビギナーからベテランを問わず皆様にお楽しみいただいた企画となり、参加者からの質問も多くすべてのプログラムにおいて有意義な会となりました。特別講演に『“脳血管を極める: Micro-neuroangiographyの世界”』と題して、亀田総合病院脳神経センター脳神経外科・脳血管内治科統括主任部長の田中美千裕先生にご講演戴きました。発生学や解剖学に基づく脳血管内治療に必要な知識や、診療放射線技師である私たちのサポートが非常に重要で欠かせない点を熱く語って戴きました。(301名参加)

第2回は2024年10月に『“救命”に役立つ放射線技術学』を金沢で開催しました。技術講演と教育講演に於いて「日常の救急業務に必要な知識や着目点, IVRに繋げるための支援技術」を3名の講師から丁寧にお話し戴きました。特別講演は「先手を打て! IVRの匂いがする～身体所見やSTAT画像の活用～」と題して、日赤愛知医療センター名古屋第二病院 大保勇先生にご講演戴きました。一方通行の講演ではなく、症例を提示しながらQ&A“聴講者参加型”のスタイルでお話し・解説を戴きました。閉会後のアンケートからも「実践的で非常に勉強になった」や「セミナーを通して一工夫・二工夫が救急医療に役立つことが分かりました」と言った感想が寄せられました。(235名参加)

3. 最近のトピックス

IVRの領域は診療科を問わず、待機の症例から救急例まで非常に幅広く柔軟に対応するスキルが求められます。これまでの撮影技術・画像支援に加え、最近タスクシフト・シェアの動向から「清潔操作や多職種連携」も必須となっています。加えて診療用放射線の安全利用に関する管理や最適化、職員の被ばく低減に携わることも重要な任務です。これらの最新トピックスや先ご施設さんの情報を皆様と共有できる機会を、今後も創造して参ります。

4. 今後の研究会開催予定

今年度も2回の開催を予定しています。第1回は「“食わず嫌い”の不整脈を克服したい!」と題してセミナーを計画中です。「なんだか難しそう」「不整脈治療って!?!」と感じる皆さんに突破口となる企画を練っておりますのでご期待ください。詳細がまとまりましたら、中部支部ホームページ、またはメールマガジン等でご案内致します。この他にも年始を目途に臨床に役立つ企画を「みなさまからのアンケート結果」を基に企画いたしますのでご期待ください。日本放射線技術学会中部支部 アンギオ研究会では、皆様のご参加を心より歓迎いたします。ぜひご活用ください。

◆医療情報システム研究会◆

代表世話人 法橋 一生 静岡県立病院機構本部 (東海ブロック)
 大谷 友梨子 藤田医科大学病院 (北陸ブロック)

1. 研究会の活動方針・活動目的

医療情報は単なる“IT機器とデータの管理”だけでなく、医療情報システムで理想的なワークフローを実現する、業務の基盤を構築・管理する領域です。これまで RIS/PACS を中心に業務の効率化と安全性の向上が進み、その範囲は地域連携、線量管理まで広がりました。医療情報領域全体ではビッグデータを利用した臨床研究、業務分析、経営分析なども盛んです。さらに情報を扱うための個人情報保護などの理解を深めることも大切です。業務の根幹であるがゆえに災害やサイバー攻撃等の BCP でも重要な役割を求められます。このように医療情報の学術領域は幅広く、工学などの自然科学だけでなく社会科学も含まれます。

当会では、入門者から実務に深く関わる方を対象としたセミナーを企画し、有益な情報を発信しています。

2. 年度内の活動記録

2024年度の研究会活動は行われませんでした。

3. 最近のトピックス

昨年度に引き続きサイバー攻撃への対策、特に画像系システムや医療機器を介したサイバー攻撃への対策が必要です。医用画像の領域は医療機器を中心にウイルス対策が困難で、リモート回線が接続されており、学術用の画像の入出力が頻回に行われるなど、医療施設では最もリスクの高い環境と運用となっています。これまでのセキュリティ対策の考え方の根本的な見直しが求められています。

DX (Digital Transformation) と呼ばれる IT による変革について、2023年3月に内閣官房医療DX推進本部から骨子案が報告されました。医用画像領域は医療のIT化の先駆けであり、今後の医療DXによる変革の動向が注目されます。

4. 今後の研究会の予定

昨年度開催されなかったサイバー攻撃対策やBCPなど、トレンドに合わせた研究会開催を予定しています。内容についてはあらためてお知らせします。

◆画像研究会◆

代表世話人 東出 了 鈴鹿医療科学大学 (東海ブロック)
 市川 勝弘 金沢大学医薬保健研究域 (北陸ブロック)

1. 研究会の活動方針・活動目的

- ・ 医用画像に関わる放射線技術学の基礎や応用の研究，および勉強会の開催.
- ・ これらの，臨床現場へのフィードバック.
- ・ 学問の進歩・普及に貢献し，学術の発展に寄与する.

2. 年度内の活動記録

- ・ 令和6年度の研究会は，名古屋と金沢にて対面開催で実施した.
 - ① 第71回 画像研究会 2024年9月28日(土) 14:00～17:00
会場： 名古屋市立大学病院 中央診療棟3階 大ホール
「初歩の画像処理 ～ノイズ低減，散乱線低減処理の基礎と実際の運用，AI 画像処理の評価～」
参加者数 44名
 - ② 第72回 画像研究会 2024年11月23日(土) 14:00～17:00
会場： 金沢大学医薬保健学域保健学類 1号館2階1220講義室
「初歩の画像処理 ～ノイズ低減，散乱線低減処理の基礎と実際の運用，AI 画像処理の評価～」
参加者数 30名
- ・ 世話人会を Web にて開催 2025年2月4日(木) 18:30～20:00

3. 最近のトピックス

DR システムにおける画像処理技術は進歩し，画質の向上や改善に大きく寄与している．近年では，Artificial Intelligence (AI) 技術を用いた画像処理も登場しており，非常に複雑化された画像処理の挙動を理解することは難しい．しかし，画像処理パラメータを最適化する上で，画像処理の挙動を理解することが必要となる．

臨床画像の画質を見極めることが重要であり，正確な評価をすることが大切である．最近では，DR システムの処理後画像に対しても解像特性の評価に Task Transfer Function (TTF) が用いられるが，一部の研究者しか取り組むことができていない状況である．このため，令和7年度の画像研究会では，DR における臨床画像の画質を見極めるための第1弾として TTF 評価を習得するための研究会を企画している．

4. 今後の研究会の予定

- ・ 第73回 画像研究会
2025年10月4日(土) 対面開催 14:00～17:00 (予定)
会場： 名古屋市立大学病院
「DRの実臨床画像の画質を見極める Season 1 『TTFを習得する!』」
- ・ 第73回 画像研究会
2025年11月8日(土) 対面開催 14:00～17:00 (予定)
会場： 金沢大学医薬保健学域保健学類
「DRの実臨床画像の画質を見極める Season 1 『TTFを習得する!』」

◆MR 研究会◆

代表世話人	<u>村中 良之</u>	<u>福井県立病院</u>	(北陸ブロック)
	<u>梶田 公博</u>	<u>岐阜大学医学部附属病院</u>	(東海ブロック)

1. 研究会の活動方針・活動目的

- ・ MRに関する基礎知識および撮像技術を習得すること
- ・ 装置、検査方法に関する最新情報の収集と、その情報を会員に提供すること
- ・ MR検査に携わる者に、情報・意見交換の場を提供すること
- ・ MRに関する安全情報を提供すること

2. 年度内の活動記録

第83回MR研究会(北陸ブロック)を8月3日に石川県立中央病院にて開催し、「Deep Learning Recoの使いどころ」をテーマに、メーカー講演、ユーザーからはDLRの使用経験を話していただきました。第84回MR研究会(東海ブロック)を1月18日に名古屋市立大学 桜山キャンパスにて開催、技術講演では「AI」、特別講演では「救急から学ぶAI」をテーマに行いました。またSpotlightセッションでは中部地区から全国に発信された各種演題をご解説していただきました。同日に第85回MR研究会(北陸ブロック)を富山県立中央病院にて開催しました。テーマは「骨盤領域のMR検査」とし、技師講演また、特別講演を「産婦人科領域の画像診断」富山大学附属病院 放射線診断科 准教授 木戸晶先生に行っていただきました。その他、中部支部若手育成セミナー応募者2名の研究支援を行いました。

3. 最近のトピックス

MRのトピックスとしては、高速撮像化とディープラーニングによるノイズ除去画像再構成を使い、より高速化に向かっている。

4. 今後の研究会の予定

- ・ 第86回MR研究会 8月頃(北陸 金沢市)
- ・ 第87回MR研究会 2026年1月頃(北陸 金沢市)
- ・ 第88回MR研究会 2026年1月頃(東海 名古屋市)

◆CT 研究会◆

代表世話人	<u>永澤 直樹</u>	<u>鈴鹿医療科学大学</u>	(東海ブロック)
	<u>高田 忠徳</u>	<u>金沢大学附属病院</u>	(北陸ブロック)

1. 研究会の活動方針・活動目的

CT研究会では多くの会員が容易に参加できるように東海ブロック、北陸ブロックと地域ごとに活動しています。もちろん、会員はブロック関係なく参加可能です。

東海ブロックでは4月の総会学術大会のCT部門の研究発表で興味深い演題の演者をお呼びし、発表内容をじっくり解説いただく企画として「CT研究の最前線報告会」を開催しています。また、夏には「CTビギナーズセミナー」、冬には「CT関連論文の抄読会」も開催しています。

北陸ブロックでは「定例研究会」の他、2022年より日本CT技術学会と合同企画「CT technical boot camp」を開催しております。

中部支部のCT研究会が開催する企画は、X線CT認定技師、肺がんCT検診認定技師、(救急撮影認定技師のポイント)も付きます。CT研究会では会員の皆さんの研究への参加、研究発表、論文執筆のお助け研究会です。企画の希望など大歓迎です。よろしくお願ひします。

2. 年度内の活動記録

東海ブロックではWeb開催で、「CT研究の最前線報告会」、「CTビギナーズセミナー」、「CT関連論文の抄読会」を開催しました。

「CT研究の最前線報告会」は7月に行われ、CyPos受賞演者を中心に5名の演者をお招きし、受賞演題/発表演題をじっくり解説いただきました。

「CTビギナーズセミナー」は中部支部主催のブルードルフィンズセミナーとの共催として鈴鹿医療科学大学での対面開催でハンズオンセミナーを行いました。内容は視覚評価と物理評価の座学のあとCTmeasureを用いてMTFやNPS、SDの評価を参加者持参のPCで実習しました。

「CT関連論文の抄読会」は1月に行われ、RSNAのCT関連セッションレポート、論文の読み方を題としたショートレクチャー、論文の抄読としてDual EnergyCTの画質評価、心筋遅延造影におけるECVの算出について学びました。

北陸ブロックでは2024年9月8日に「CT technical boot camp 2024」を開催し、Dual energy CTに対しハンズオンを通しての基礎理解ならびに臨床応用を学びました。

また、前年度開催を延期した「定例研究会」を2024年11月23日に対面にて開催しました。「CT検査における被ばくの最適化」をテーマとして、まずはCase Overviewにおいて北陸の2施設における取り組みを紹介いただき、Educational Sessionでは金沢大学医薬保健研究域の松原孝祐先生に画質と被ばくの最適化に向けた考え方について、Keynote Lectureでは山形県立中央病院放射線部 今野雅彦先生に線量管理ソフトウェアによるCT検査を中心とした線量管理の現状についてご講演いただきました。

3. 最近のトピックス

CTは診療放射線技師の業務の中でも多くの会員が携わっているモダリティであります。技術学会中部支部でもCT関連の研究会を多く開催して多くの会員の参加をお待ちしています。

最近のCT分野の注目はDual Energy CTやPhoton counting CT等のX線エネルギーを利用したもの、再構成法にAI技術を利用したDeep Learning (Image) Reconstruction等があります。CT研究の幅は拡大を続けているのが現状です。日常で役に立つ撮影技術も開発も多く発表されています。

2021年度からは中部支部企画である若手研究者の育成セミナーのサポートを行い、CTをテーマとした若手研究者の研究を支援しました。直近では指導論文がRadiographyにアクセプトされました。

4. 今後の研究会の予定

東海ブロックでは「CT 研究の最前線報告会」のほかに、「ビギナーズセミナー」や「CT 関連論文の抄読会」を開催します。

北陸ブロックでは恒例の「定例研究会」ならびに2025年9月6日・7日に「CT technical boot camp 2025」を開催いたしますので、是非ご参加ください。

また、中部支部企画である若手研究者の育成セミナーのサポートも引き続き行っていきます。ぜひ一緒に研究しましょう。

◆乳房画像研究会◆

代表世話人	<u>西出 裕子</u>	<u>岐阜医療科学大学</u>	(東海ブロック)
	<u>餅谷 裕子</u>	<u>金沢大学附属病院</u>	(北陸ブロック)

1. 研究会の活動方針・活動目的

乳房の画像診断に関わるモダリティにおいて、最新の話題や会員が関心を持っている内容について取り上げ、講演や会員発表などを行います。

2. 年度内の活動記録

2024年度は、第59回研究会を対面で開催しました。活動の記録は、中部支部事業報告をご参照ください。

3. 最近のトピックス

DRL s 2020 から5年経過したことから、マンモグラフィのDRLについても改訂作業が行われた。今回は、全国から2023年度中に実施された各施設の連続50症例の中央値を統合アンケート形式にて収集し、臨床データに基づく2Dマンモグラフィ平均乳腺線量およびDBT(デジタルブレストトモシンセシス)の平均乳腺線量から、臨床における2DとDBTのDRLが決定された。さらに、2015年から使用している、NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構の施設画像評価における2019～2024のPMMA 40 mmの平均乳腺線量のデータから、DRLが決定された。

4. 今後の研究会の予定

- ・ 第60回乳房画像研究会
日時：9月頃
開催場所：名古屋市内
- ・ 第61回乳房画像研究会
日時：12月頃(予定)
開催場所：未定

2025 年度 中部支部事業計画

1. 第 59 回日本放射線技術学会中部支部学術大会（第 17 回中部放射線医療技術学術大会）を開催する。
会期：2025 年 11 月 15 日（土），11 月 16 日（日）
会場：鈴鹿医療科学大学 千代崎キャンパス（鈴鹿市）
2. 2025 年度第 1 回支部学術セミナーを開催する。
会期：2025 年 6 月 7 日（土）
会場：富山県 ハイブリッド開催
3. 2025 年度第 2 回支部学術セミナーを開催する。
会期：2026 年 1 月 10 日（土）
会場：岐阜県 ハイブリッド開催
4. 2025 年度 CT technical boot camp を開催する。（日本 CT 技術学会共催）
会期：2025 年 9 月 6 日（土），7 日（日）
会場：金大病院 CPD センター（予定）
5. 2025 年度 BLUE-DOLPHINS セミナーを開催する。
会期：2025 年 7 月（未定）
会場：鈴鹿医療科学大学 千代崎キャンパス（鈴鹿市）
6. 2025 年度若手放射線技師のための研究サポートセミナーを開催する。
会期：2025 年 5 月 15 日（木），5 月 22 日（木）
会場：Web 開催
定員：20 名
7. 2025 年度若手および学生向けセミナーを開催する。
会期：2025 年 7 月，11 月（予定）
会場：鈴鹿医療科学大学 千代崎キャンパス（予定）
定員：200 名
8. 本部共催事業を開催する。
 - (1) PACS Specialist セミナー（教育委員会，医療情報部会共催）
会期：2025 年 12 月 13 日（土）
会場：未定
内容：詳細は，教育委員会，医療情報部会事業計画による。
 - (2) 第 12 回臨床画像評価セミナー（教育委員会，画像部会共催）

会期：2025年12月21日（日）

会場：名古屋市立大学病院（予定）

内容：詳細は、教育委員会、画像部会事業計画による。

(3) CT 応用セミナー（教育委員会、撮影部会共催）

会期：2025年9月20日（土）、21（日）

会場：JPタワー名古屋5階 ミッドタウンクリニック名駅 会議室

内容：詳細は、教育委員会、撮影部会事業計画による。

(4) JJ 合同市民公開講座（教育委員会、広報渉外委員会共催）

会期：2025年9月28日（日）

会場：名古屋市立大学病院 病院大ホール

9. 支部技術セミナーの開催（年20回程度開催予定）

CT 研究会，MR 研究会，画像研究会，医療情報システム研究会，乳房画像研究会，放射線防護研究会，放射線治療研究会，アンギオ研究会，超音波画像研究会，核医学研究会，データサイエンス研究会，全11研究会による開催。

10. 刊行物の発刊

(1) タイトル：中部支部誌 Vol.27

発刊日：2025年4月

(2) タイトル：支部ニュースレター “ビーム中部 2025年第1号，CCRT 演題募集号”

発刊日：2025年6月

(3) タイトル：支部ニュースレター “ビーム中部 2025年第2号，CCRT プログラム号”

発刊日：2025年10月

11. 支部表彰について

規程に基づき、功労賞、奨励賞、CCRT 大会賞、優秀指導者賞の選考および学術大会にて表彰を行う。

12. 国際学会発表者支援事業について

国際学会発表者に対し、規程に基づき助成金を交付する。

2025年度 中部支部収支予算書

2025年3月1日から2026年2月末日まで

(単位：円)

科 目	2025年度予算額	2024年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
1) 会費収入	6,000,000	6,000,000	0	
(1) 支部正会員通常会費	5,000,000	5,000,000	0	
(2) 特別会費収入(支部学術集会)	1,000,000	1,000,000	0	
(3) 特別会費収入(定期研究発表会)	0	0	0	
2) 事業収入	1,800,000	1,800,000	0	
(1) 広告料収入	0	0	0	
(2) 研修会等収入	800,000	800,000	0	
(3) 学術大会事業収入	1,000,000	1,000,000	0	
3) 補助金等収入	1,950,000	1,950,000	0	
(1) 本部支部助成金収入	1,950,000	1,950,000	0	
(2) 地方公共団体補助金収入	0	0	0	
(3) 民間補助金収入	0	0	0	
(4) 地方公共団体助成金収入	0	0	0	
(5) 民間助成金収入	0	0	0	
4) 負担金収入	0	0	0	
(1) 負担金収入	0	0	0	
5) 寄付金収入	0	0	0	
(1) 寄付金収入	0	0	0	
6) 雑収入	5,000	5,000	0	
(1) 利息収入	3,000	3,000	0	
(2) 雑収入	2,000	2,000	0	
事業活動収入計	9,755,000	9,755,000	0	
2. 事業活動支出				
1) 事業費	9,500,000	9,930,000	△ 430,000	
(1) 支部学術集會費 公1	4,400,000	4,400,000	0	
① 会議費	300,000	300,000	0	
② 旅費交通費	450,000	450,000	0	
③ 通信運搬費	50,000	50,000	0	
④ 消耗品費	50,000	50,000	0	
⑤ 印刷製本費	500,000	500,000	0	
⑥ 賃借料	800,000	800,000	0	
⑦ 諸謝金	150,000	150,000	0	
⑧ 委託費	2,000,000	2,000,000	0	
⑨ 雑費	100,000	100,000	0	
(2) 定期研究発表会費 公1	0	0	0	
① 会議費	0	0	0	
② 旅費交通費	0	0	0	
③ 通信運搬費	0	0	0	
④ 消耗品費	0	0	0	
⑤ 印刷製本費	0	0	0	
⑥ 賃借料	0	0	0	
⑦ 諸謝金	0	0	0	
⑧ 委託費	0	0	0	
⑨ 雑費	0	0	0	
(4) 講演会等開催費 公1	1,620,000	1,970,000	△ 350,000	
① 会議費	150,000	150,000	0	
② 旅費交通費	700,000	700,000	0	
③ 通信運搬費	100,000	200,000	△ 100,000	
④ 消耗品費	50,000	100,000	△ 50,000	
⑤ 印刷製本費	100,000	200,000	△ 100,000	

⑥ 賃借料		300,000	300,000	0
⑦ 諸謝金		100,000	100,000	0
⑧ 委託費		100,000	200,000	△ 100,000
⑨ 雑費		20,000	20,000	0
(5) 広報・会誌費	公2	1,000,000	1,000,000	0
① 通信運搬費		0	0	0
② 印刷製本費		0	0	0
③ 諸謝金		0	0	0
④ 委託費		1,000,000	1,000,000	0
(6) 調査研究費	公3	1,920,000	2,000,000	△ 80,000
① 会議費		300,000	300,000	0
② 旅費交通費		1,000,000	1,000,000	0
③ 通信運搬費		30,000	30,000	0
④ 消耗品費		50,000	100,000	△ 50,000
⑤ 印刷製本費		100,000	100,000	0
⑥ 賃借料		120,000	120,000	0
⑦ 諸謝金		300,000	300,000	0
⑧ 委託費		0	0	0
⑨ 雑費		20,000	50,000	△ 30,000
(3) 表彰費	公4	400,000	400,000	0
① 表彰費		200,000	200,000	0
② 学術研究助成金		200,000	200,000	0
③ 雑費		0	0	0
(7) 諸委員会費		160,000	160,000	0
① 企画委員会	共通	0	0	0
(会議費)		0	0	0
(旅費交通費)		0	0	0
(雑費)		0	0	0
③ 大会開催委員会費	公1	0	0	0
(会議費)		0	0	0
(旅費交通費)		0	0	0
(雑費)		0	0	0
② 編集委員会費	公2	30,000	30,000	0
(会議費)		30,000	30,000	0
(旅費交通費)		0	0	0
(雑費)		0	0	0
⑧ 学術・教育委員会費	公3	130,000	130,000	0
(会議費)		30,000	30,000	0
(旅費交通費)		100,000	100,000	0
(雑費)		0	0	0
④ 表彰委員会費	公4	0	0	0
(会議費)		0	0	0
(旅費交通費)		0	0	0
(雑費)		0	0	0
⑤ 広報委員会費	公5	0	0	0
(会議費)		0	0	0
(旅費交通費)		0	0	0
(雑費)		0	0	0
2) 管理費		2,755,000	2,325,000	430,000
(1) 給料手当		0	0	0
(2) 臨時雇用費		0	0	0
(3) 福利厚生費		0	0	0
(4) 会議費		200,000	150,000	50,000
(5) 旅費交通費		2,000,000	1,620,000	380,000
(6) 通信運搬費		20,000	20,000	0
(7) 消耗什器備品費		200,000	200,000	0
(8) 消耗品費		35,000	35,000	0
(9) 修繕費		0	0	0
(10) 印刷製本費		20,000	20,000	0
(11) 光熱水料費		0	0	0
(12) 賃借料		150,000	150,000	0
(13) 保険料		0	0	0

(14) 諸謝金	0	0	0
(15) 租税公課	0	0	0
(16) 負担金(支払手数料・事務所負担金)	30,000	30,000	0
(17) 委託費	0	0	0
(18) 減価償却費	0	0	0
(19) 管理雑費	100,000	100,000	0
事業活動支出計	12,255,000	12,255,000	0
事業活動収支差額	△ 2,500,000	△ 2,500,000	0
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
1) 特定資産運用収入	0	0	0
(1) 研究奨励資金運用収入	0	0	0
(2) 総会学術集会等準備資金運用収入	0	0	0
2) 特定資産取崩収入	0	0	0
(1) 研究奨励資金取崩収入	0	0	0
(2) 総会学術集会等準備資金取崩収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
1) 固定資産取得支出	0	0	0
(1) 什器備品購入支出	0	0	0
2) 特定資産取得支出	0	0	0
(1) 研究奨励資金支出	0	0	0
(2) 総会学術集会等準備資金支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	9,755,000	9,755,000	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	12,255,000	12,255,000	0
財務活動収支差額	△ 2,500,000	△ 2,500,000	0
Ⅳ 予備費支出	12,945,190	12,945,190	0
当期収支差額	△ 15,445,190	△ 15,445,190	0
前期繰越収支差額	15,445,190	15,445,190	0
次期繰越収支差額	0	0	0

2025 年度中部支部役員名簿

支部長	大橋 一也 (名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院)
副支部長	高田 忠徳 (金沢大学附属病院)
	永澤 直樹 (鈴鹿医療科学大学)
支部監事	松浦 幸広 (金沢大学附属病院)
	國友 博史 (藤田医科大学)
理 事	
・庶務	加藤 勝也 (名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院)
・庶務	山田 薫 (聖隷浜松病院)
・庶務	三井 渉 (金沢大学附属病院)
・財務	小林 謙一 (藤田医科大学病院)
・財務	嶋田 真人 (福井大学医学部附属病院)
・財務	高木 雅悠 (藤田医科大学病院)
・愛知県	西本 卓矢 (名古屋大学医学部附属病院)
・岐阜県	谷口 拓矢 (朝日大学病院)
・三重県	山崎 暁夫 (三重大学医学部附属病院)
・静岡県	野村 孝之 (浜松医科大学医学部附属病院)
・福井県	立石 敏樹 (福井大学医学部附属病院)
・石川県	三浦 淳也 (石川県立中央病院)
・富山県	白崎 展行 (富山大学附属病院)

2025 年度中部支部研究会世話人名簿

研究会代表世話人（下段は副代表世話人）	
CT 研究会	永澤 直樹 (鈴鹿医療科学大学)
	三井 渉 (金沢大学附属病院)
MR 研究会	林 弘之 (金沢大学附属病院)
	高瀬 伸一 (三重大学医学部附属病院)
医療情報システム研究会	法橋 一生 (静岡県立病院機構本部)
	大谷 友梨子 (藤田医科大学病院)
画像研究会	東出 了 (鈴鹿医療科学大学)
	市川 勝弘 (金沢大学)
放射線治療研究会	小島 礼慎 (金沢大学附属病院)
	青山 貴洋 (愛知県がんセンター)
乳房画像研究会	西出 裕子 (岐阜医療科学大学)
	餅谷 裕子 (金沢大学附属病院)
放射線防護研究会	上野 博之 (高岡市民病院)
	伊藤 祐介 (大雄会第一病院)
アンギオ研究会	石崎 宗一郎 (富山県済生会富山病院)
	水井 雅人 (日下病院)
超音波画像研究会	山村 博 (金沢医科大学病院)
	安本 浩二 (三重県立総合医療センター)
核医学研究会	澁谷 孝行 (金沢大学)
	市川 肇 (新潟医療福祉大学)
データサイエンス研究会	辻本 正和 (藤田医科大学)
サーバの管理	高田 忠徳 (金沢大学附属病院)
事務局	高木 雅悠 (藤田医科大学病院)
財務委員補佐	木戸屋 栄次 (福井大学医学部附属病院)

2024 年度中部支部会員動向

●2024 年度 月別会員数推移

中部支部		前月末会員数	新入会	届出退会	死亡退会	休会開始	休会終了	除名	調整数	当月末会員数
2024年	3月	2547	16	88	0	9	10	19	-2	2459
	4月	2459	38	14	0	1	0	0	-2	2484
	5月	2484	24	8	0	1	0	0	1	2498
	6月	2498	5	4	0	1	0	0	1	2497
	7月	2497	16	11	0	0	0	0	0	2502
	8月	2502	0	127	0	1	0	0	0	2374
	9月	2374	9	1	0	0	0	0	1	2381
	10月	2381	16	0	0	0	0	0	2	2395
	11月	2395	22	0	0	0	0	0	0	2417
	12月	2417	10	5	0	0	0	0	2	2420
2025年	1月	2420	0	9	0	0	0	0	1	2410
	2月	2410	32	13	0	0	0	0	2	2427
			188	280	0	13	10	19	6	
										年度会員数増減
										-120

2024 年度学会表彰者

中部支部で以下の方々が表彰されました。
おめでとうございます。

2024 年度本部表彰者

学術賞

原 武史 岐阜大学
國友 博史 藤田医科大学
藪谷 俊峰 藤田医科大学病院

論文支援功労賞

竹井 泰孝 川崎医療福祉大学

研究奨励賞・技術奨励賞

画像分野

篠原 範充 岐阜医療科学大学

核医学分野

橋本 二三生 浜松ホトニクス株式会社

研究奨励賞・技術新人賞

撮影分野 (CT)

大谷 昂 福井大学医学部附属病院

撮影分野 (MR)

牧野 有希 金沢大学附属病院

2024 年度中部支部表彰者

功労賞

木戸屋 栄治 福井大学医学部附属病院
村中 良之 福井県立病院
能登 公也 金沢大学附属病院

奨励賞

平井 健太 静岡県立総合病院
大澤 充晴 愛知医科大学病院
溝口 直洋 福井県立病院
中山 僚 静岡県立総合病院
木寺 信夫 名古屋市立大学病院
吉田 将人 市立四日市病院
加藤 裕 名古屋大学医学部附属病院
長宅 祐哉 藤田医科大学病院
別所 貴仁 金沢医科大学病院

2024年 3月2日

報告書・議事録

公益社団法人 日本放射線技術学会中部支部長 殿

会議名	2024年度 第1回 日本放射線技術学会中部支部理事会		
開催日時	2024年3月2日(土) 15時30分～17時00分	開催場所	福井 AOSSA 6階研修室 602
出席者名	大橋 一也、國友 博史、高田 忠徳、永澤 直樹、木戸屋 栄次、小林 謙一、 嶋田 真人、山田 薫、加藤 勝也、能登 公也、山崎 暁夫、野村 孝之、三浦 淳也、 村中 良之、白崎 展行、法橋 一生、上野 博之、石崎 宗一郎、市川 肇、 東出 了、山村 博、高木 雅悠、小山 修司 合計 23名 欠席者 廣田 真、西本 卓矢、西出 裕子、小島 礼慎、松浦 幸広 計5名		
議長・司会	國友 博史	報告者名	能登 公也
議題 (項目のみとし、審議内容および結果については 2 号用紙に記入する)			
議題			
1	2024年度支部役員体制		
2	本部理事会報告		
3	2023年度事業報告および2024年度事業計画		
4	第57回中部支部学術大会(第15回中部放射線医療技術学術大会)開催報告		
5	第58回中部支部学術大会(第16回中部放射線医療技術学術大会)準備報告		
6	財務委員報告		
7	学術委員会報告		
8	編集委員会報告		
9	個人情報保護について		
10	2025・2026年度 代議員選挙、役員選出選挙および支部の日程		
11	その他		

<p>議題 1</p>	<p>2024 年度支部役員体制（大橋支部長）資料 1-1 大橋支部長から 2024 年度の支部役員体制について報告された。 今年度委員の変更はない。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p> <p>1.1 CCRT 運営委員会について 資料 1-2 大橋支部長から CCRT 運営委員会について報告された。 事務局の任期は 7 年間で 2024 年度からは JSRT 側から岐阜大学医学部附属病院の三好利治先生が CCRT 運営委員長となる。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p>
<p>議題 2</p>	<p>本部理事会報告（大橋支部長） 大橋支部長から本部理事会について報告された。 個人情報の取扱いの整備が進んでいる。 個人情報管理のため、支部の OneDrive を引き続き運用する。 本部より支給されている WebEX は今年度で終了する予定。2025 年度からは支部負担となるため、別会社を含め検討する必要がある。 会費の値上げを検討中である。</p> <p>《質疑応答》 支部については今年度も Zoom を継続契約する。</p>
<p>議題 3</p>	<p>2023 年度事業報告および 2024 年度事業計画（大橋支部長）資料 2-1、2-2 大橋支部長から 2023 年度事業報告および 2024 年度事業計画について報告された。 2024 年度第 1 回支部学術セミナーは、5 月 25 日（土）名古屋で Hybrid 開催が決定している。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p>

	<p>3. 1 2024年度中部支部理事会候補日 第2回理事会 5月25日(土)名古屋 中間監査 9月7日(土) 第3回理事会 9月21日(土)金沢(CCRT:12月7日~8日) 期末監査・次年度第1回理事会 3月1日(土)福井</p> <p>《質疑応答》 特になし</p>
<p>議題4</p>	<p>第57回中部支部学術大会(第15回中部放射線医療技術学術大会)開催報告 (村中理事)資料3</p> <p>村中理事から第15回CCRT開催について報告された。 参加人数:現地+オンデマンドのみ参加合計 545名 インボイスは対応しなかった。 その他、開催に際しての課題等について報告された。</p> <p>《質疑応答》 Q. RacNeではPayeasyが利用でき、現金による振り込み記録が必要な施設に対応できているが、JJRSでは対応できないのか。 A. 対応できない。</p> <p>コメント。JARTでは6名の表彰があったが、JSRTでは行なっていないため、CCRT運営委員会で共同表彰できるように検討している。 インボイスの対応について、2024年秋季学会ではJSRTとJARTが別々で領収書を発行予定。CCRTではどうするか検討する必要がある。 倫理審査について。演題登録と研究内容がマッチしていない演題が多少存在。周知の必要性がある。倫理申請していないのに演題エントリーをしている状態について、いつまでその運用を行うのか検討が必要である。</p>
<p>議題5</p>	<p>第58回中部支部学術大会(第16回中部放射線医療技術学術大会)準備報告 (大橋支部長)</p> <p>大橋支部長から第16回CCRT準備について報告された。 日程:12月7日(土)~8日(日)、会場:じゅうろくプラザ(岐阜県) オンデマンド配信も予定している。 JSRT・JART共同企画として入会促進のための学生・若手向けセミナーを企画予定。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p>

<p>議題 6</p>	<p>財務委員報告（小林財務）資料 5-1、5-2 小林財務から 2023 年度収支決算報告された。</p> <p>〈質疑応答〉 特になし</p> <p>6. 1 2023 年度会計監査報告（小山幹事） 小山監事から 2023 年度会計監査の結果、会執行は的確に運営されていることが報告された。</p> <p>〈質疑応答〉 特になし</p> <p>6. 2 財務委員報告 小林財務・高木財務委員より財務報告された。</p> <p>領収書の「お品代」は認められない。具体的に記入が必要。 研究会の経費振り込みについては個人口座対応不可。</p> <p>研究会管理の口座を整理して不要なものは財務委員に報告する。 開催会場が自施設の場合、会員スタッフに謝金 3000 円を支給できるように調整することとなった。詳細については次回理事会に説明。</p> <p>インボイス対応領収書を準備した。RacNe 運用では問題ないが、紙運用の場合指定した形式のものを使用する。電子帳簿保存法に対応（主催者側が控え保管義務あり）するため、紙の場合は保管用に 2 枚準備する必要がある。支部の電子印については取扱注意。基本的には RacNe 運用を強く推奨する。</p> <p>6. 3 Web 会議に係る財務内規について（大橋支部長） 今年度より Web 会議費が支給されないこととなった。 若手セミナーの研究指導については完全ボランティアになるため、対面指導も検討することとなった。</p> <p>〈質疑応答〉 Q.（アンギオ研究会）研究会運営費が年 15 万円であるが、超える可能性があり、問題ないか。 A. 支部長に相談し、対応。集客も見込めるため開催してもらえばよい。 Q.（アンギオ研究会）謝金における領収書は従来型のものでよいか。会員の謝金につ</p>
-------------	---

	<p>いて、3,000 円に税金は含まれるか？</p> <p>A. 税抜き. 合計 3,341 円, 本人には 3,000 円. 個人への支払いなので領収証に登録番号の記載は不要. 従来通りでよい。</p> <p>Q. (核医学研究会) 研究会用口座名に個人名が含まれてもよいか。</p> <p>A. 問題ない. 適宜支部規約等を利用してください。</p> <p>Q. (アンギオ研究会) 研究会セミナーに関する Web 会議費も計上できないのか。</p> <p>A. できません。</p> <p>Q. (核医学研究会) 対面会議の場合の交通費は計上できるか。</p> <p>A. 研究会活動費範囲ないであれば計上できます。</p>
<p>議題 7</p>	<p>学術委員会報告 (永澤副支部長) 資料 6-1、6-2</p> <p>7. 1 2024 年度学術セミナー・本部共催学術企画計画等 永澤副支部長から 2024 年度学術セミナー・本部共催学術企画等について報告された。</p> <p>7. 2 2024 年度若手育成セミナー開催計画 永澤副支部長から 2024 年度若手育成セミナーについて報告された。</p> <p>7. 3 2024 年度学生向け・新規勧誘イベントについて (高田副支部長) 資料 6-3 高田副支部長から 2024 年度学生向け・新規勧誘イベントについて報告された。</p> <p>7. 4 研究会開催計画について (山田庶務) 資料 6-4 山田庶務から研究会開催計画について報告された。 監査月 (8 月・2 月) に計画している研究会については開催日に注意。 研究会世話人一覧名簿はメールアドレス記載のものを支部 OneDrive に保存することとした。</p> <p>7. 5 研究会活動計画 (各研究会代表) 各研究会代表から研究会活動計画について報告された。</p> <p>CT 研究会 東海ブロック (永澤代表) 3 回予定。6 月、7 月画像研究会合同セミナー、1 月 CT 関連論文抄読会 北陸ブロック (高田代表) 2 回予定。8 月以降、9 月 7、8 日で開催予定</p> <p>MR 研究会 (村中代表) 3 回予定。8 月 3 日現地、12 月現地、1 月現地東海</p> <p>画像研究会 (東出代表) 2 回予定。9 月 28 日、11 月 23 日</p> <p>医療情報システム研究会 (法橋代表)</p>

	<p>2回予定。7月 Hybrid、1月内容未定</p> <p>乳房画像研究会（西出代表） 代表者欠席のため不明</p> <p>放射線防護研究会（上野代表） 2回予定。7月北陸、10月東海 放射線治療研究会</p> <p>複数回予定。1月に Web 開催予定。12月愛知 Web、その他東海地区で予定。 アンギオ研究会（石崎代表）</p> <p>2回予定。5月11日名古屋、12月頃北陸。どちらも Hybrid 予定 超音波画像研究会（山村代表）</p> <p>2回予定。ハンズオン、レベルアップセミナーを9月7日予定 核医学研究会（市川代表）</p> <p>3回予定。7月28日岐阜 ハンズオンセミナー予定、1月 Web 予定。その他、核医学部会と連携したセミナーを予定。</p> <p>《質疑応答》 コメント、研究会セミナーの告知に SNS をもっと利用してはどうか。 A. 広報は重要なので今後検討が必要。</p>
<p>議題 8</p>	<p>編集委員会報告（高田副支部長）資料 7 高田副支部長から中部支部会誌および支部 HP 改修について報告された。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p>
<p>議題 9</p>	<p>個人情報保護について RacNe の会員情報にアクセスする際は支部 OneDrive のエクセル台帳に記入することで承認とする。今後アクセス記録も管理される可能性があるため必ず台帳記入すること。</p> <p>《理事会後に本部情報があったため追記》 個人情報アクセス記録について 個人情報アクセス記録は支部 OneDrive 理事フォルダに保管されており、メールアドレス認証となっている。 運用方法： ①理事メールでアクセスする件を送信する。 ②OneDrive の「個人情報アクセス記録」のファイルに記載</p>

	<p>③RacNe にアクセス</p> <p>*ダウンロードした情報を共有したい場合は「中部支部理事フォルダ」を利用可能。</p> <p>*上記運用方法に従えば支部長の承認を待たずアクセスしてもよい。</p> <p>*特別な事情があれば別途メールにて連絡が必要。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p>
<p>議題 10</p>	<p>2025・2026 年度 代議員選挙、役員選出選挙および支部の日程</p> <p>2025・2026 年度代議員選挙日程</p> <p>2024 年</p> <p>3月20日代議員選挙公示（学会雑誌第80巻3号、WEB サイト、ML 送信）</p> <p>4月10日代議員立候補者受付締め切り</p> <p>5月8日投票開始・選挙依頼メール送信</p> <p>5月31日代議員選挙締め切り</p> <p>6月1日開票（委員会確認後速やかに学会 WEB サイトに掲載）</p> <p>6月15日開票結果報告（第2回理事会）</p> <p>2025・2026 年度役員選出選挙日程（案）</p> <p>2024 年</p> <p>7月17日役員選出選挙公示（学会雑誌第80巻7号、WEB サイト、ML 送信）</p> <p>8月7日役員立候補者受付締め切り</p> <p>8月28日役員候補者定数選出選挙依頼メール送信（代議員宛）</p> <p>9月20日役員候補者定数選出選挙締め切り</p> <p>9月21日開票（委員会確認後速やかに学会 WEB サイトに掲載）</p> <p>11月23日開票結果報告（第4回理事会）</p> <p>12月14日2024 年度臨時総会において役員の選出</p> <p>2025・2026 年度中部支部役員意向調査</p> <p>8月2日中部支部役員意向調査公示</p> <p>《質疑応答》 特になし</p>
<p>議題 11</p>	<p>その他</p> <p>高田副支部長から UMIN の理事メーリングリストの不具合について報告された。</p> <p>金沢大学ドメインから発信した場合、一部配信されない不具合が生じている。</p> <p>高田副支部長・能登庶務からのメール発信については他ドメインから発信するか個別メ</p>

	<p>ール送信により伝達漏れがないように対応する。</p> <p>《質疑応答》 特になし</p>
--	--

上記報告内容において相違がないことを確認した。

2024年 3月 10日

支部長 大橋 一也 

2024年 5月 27日

報告書・議事録

公益社団法人 日本放射線技術学会中部支部長 殿

会議名	2024年度 第2回日本放射線技術学会中部支部理事会		
開催日時	2024年5月25日(土)9時30分～11時30分	開催場所	TKP名鉄名古屋駅カンファレンスセンター ミーティングルーム9G
出席者名	出席者:大橋一也、國友博史、永澤直樹、小山修司、木戸屋栄次、小林謙一、嶋田真人、能登公也、山田薫、西本 卓矢、山崎暁夫、野村孝之、村中良之、三浦淳也、白崎展行、法橋一生、石崎宗一郎、上野博之、西出裕子、東出了、小島礼慎、高木雅悠、加藤勝也 合計23名 欠席者:高田忠徳、松浦幸広、廣田真、山村博、市川肇 合計5名		
議長・司会	永澤直樹	報告者名	加藤勝也
議題 (項目のみとし、審議内容および結果については2号用紙に記入する)			
議題			
1	本部理事会報告		
2	2024年度事業報告・事業計画		
3	第58回中部支部学術大会 (第16回中部放射線医療技術学術大会) 準備報告		
4	財務委員報告		
5	学術委員会報告		
	5.1 2024年度 学術セミナー・本部共催学術企画計画等		
	5.2 2024年度 若手育成セミナー開催計画		
	5.3 2024年度 学生向け・新規勧誘イベントについて		
	5.4 研究会開催計画について		
	5.5 研究会活動計画		
6	編集委員会報告		
	6.1 支部HP改修について		
7	個人情報保護について		
8	その他		

<p>議題 1</p>	<p>本部理事会報告（大橋支部長）（資料 1） 資料の通りに大橋支部長より報告がされた。</p> <p>代表理事より 今年度は、①学際的研究の推進、②国際化推進、③若手研究者育成に重点</p> <p>本部財政難について 緊急措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部の遊休財産を本部の会計に 370 万送金し、覚書を送付。 ・関東支部、北海道支部が覚書未対応 <p>対応策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部助成金 120 万執行停止 ・理事会、運営企画会議は web に変更 ・毎月キャッシュフローを確認 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部の遊休財産が不適合の状態なため、本部に有給財産がない。 ・財源は一つ <p>その他</p> <p>国際研究助成に関して、本会に論文投稿意思がないものに助成するのはいかがなものか、募集要項に記載してある。→却下となった。</p> <p>内閣府監査 代表理事候補者選出規定見直し</p> <p>北海道支部の情報漏えい事件の犯人が捕まった</p> <p>〈質疑等〉</p> <p>(大橋)代表理事候補者選出規定の指摘事項とはどのようなことかー(西出)春の総会の時の代議員総会にて指名任命を行うべきということ。代表理事の空白期間をなくし、円滑に会を運営しようと規定を変えたことが指摘された。</p> <p>(西出)本部と支部の財布は一つであると考えれば支部のお金が多すぎると本部の財布の余裕が持てなかったから、一時期の資金繰りがうまくいかなかったということで、お金がないわけではない。しかしながら本部は単年でみると赤字。今年度と来年度の運営でお金が無くなりそう。Gotoキャンペーン企画、部会無料などが積み重なって財政が厳しいと考えられる。現在発行している冊子のうち、論文に関するものを電子化のみとするなどして1千万円ほどはうく。</p>
-------------	--

	<p>(小林)本部の財政難について、財務の立場から発言させていただくと、支部の運営の方法が悪かった、秋季が赤字だった、など自戒の念がなく良い印象がもてない。</p> <p>(法橋)支部の収益を本部に収めるのか、東京支部のようなことをするのか、考えなければいけなさそう。</p>
議題 2	<p>2024 年度事業計画（大橋支部長）（資料 2）</p> <p>資料の通りに大橋支部長から報告がされた。</p> <p>DMAT報告会を第1回の技術セミナーとした。</p> <p>《質疑等》</p> <p>(小林)支部学術セミナーは第1回名古屋、第2回の冬も東海開催で間違いないか。－(永澤)本来は6月北陸、1月東海だが、今回はスライドしたので、東海－東海である。</p>
議題 3	<p>第 58 回中部支部学術大会(第 16 回中部放射線医療技術学術大会)準備報告(西出理事)(資料 3)</p> <p>資料の通りに西出理事より報告がされた。(資料 3)</p> <p>テーマ:技術の革新と叡智の伝承－放射線医療の新たな使命－</p> <p>会 期:令和 6 年 12 月 7 日(土)・8 日(日)</p> <p>会 場:じゅうろくプラザ 岐阜市橋本町 1 丁目 10 番地 11</p> <p>大会長:加藤秀記(第 32 回中日本地域放射線技師学術大会大会長) 中津川市民病院</p> <p>副大会長:廣田真(第 58 回日本放射線技術学会中部支部学術大会大会長) 岐阜大学医学部附属病院</p> <p>192 演題が現状の枠で入る。増やすことは可能。</p> <p>教育セミナー1, 2を技術学会側でお願いしたい。研究会とのコラボなど。</p> <p>JART/JSRT 特別企画について、技術学会は石田代表理事参加、技師会参加者は未定であり、その方の都合で時間は流動的の様様。</p> <p>《質疑等》</p> <p>(大橋)土曜最後の教育セミナーは合同?－(西出)できれば技術学会でも考えている。－</p> <p>(大橋)教育セミナー1, 2は確定で、もう一つの教育セミナーも支部が担当の可能性があると考えておく。</p> <p>(大橋)高田副支部長の学生の新規入会促進企画と JART/JSRT 特別企画とコラボして行うとよいかもしれない。沖縄の学会の良さを伝える機会を設けては?</p> <p>(國友)オンデマンドは行うのか－(西出)費用の問題でやれるか未定。福井との引継ぎ会をまだ行ってないためわからない。－(大橋)UMIN のシステムを使えば費用は非常に抑えられる</p>

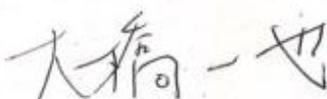
	<p>はず。－(國友)CCRT での実績もあるコムラなどに確認しながら行っていけばよいのでは。 (大橋)支部年会を土曜の17時以降としてもよいのかもしれない。 (大橋)ランチョンや機器展示などの進捗状況は？－(西出)100社ほどに趣意書を送付したが、どれくらいのレスポンスがあったかは不明。 (小林)分担金 150 万円と JART 側の表彰代3万円とあわせ、JSRT 側も 153 万円振込済。 Web 会議費が CCRT のみ支給されてよいのか－(大橋)CCRT 運営委員会に確認依頼をしている。 (國友)ホテルの幹旋等はあるのか？ 必要ないとも思うので各自で確保を流しておいたほうがよい。</p>
<p>議題 4</p>	<p>財務委員報告 (小林財務) (資料 4_1, 資料 4_2) 資料の通りに小林財務よりがされた 臨時補助員への謝金支給について流れを作成した。開催会場の施設の職員へ支給。受付2名、会場係2名の計4名。 担当財務の了承をえる。事前に領収証を作成。資料 4.2 を使用する。 終了後は領収証, その他資料とともに財務に提出。 毎月の納税連絡も忘れずに行う。</p> <p>《質疑等》 特になし。</p>
<p>議題 5</p>	<p>学術委員会報告(永澤副支部長) (資料 5) 5.1 2024 年度 学術セミナー・本部共催学術企画計画等 5.2 2024 年度 若手育成セミナー開催計画(資料 5_2) 5.3 2024 年度 学生向け・新規勧誘イベントについて(永澤副支部長) (資料 5_3) 5.4 研究会開催計画について(山田庶務) (資料 5_4) 5.5 研究会活動計画(各研究会代表) (資料 5_5)</p> <p>資料の通りに各担当から報告がされた。</p> <p>《質疑等》 (永澤)若手育成セミナーの乳房関係希望者－(西出)乳房画像研究会受け入れ可能 (永澤)若手育成セミナーの一般撮影補助具関係希望者－(大橋)画像研究会？アンギオ研究会？どこも難しい。－(永澤)学術委員会でもう一度検討する。また、他から指導を受けている場合は断る, のような文言を入れるかどうかを今後検討する必要がある。</p>

	<p>(東出)外部に委託する場合も中部支部の窓口をしっかりと用意するべき。 (永澤)実績2021年16名, 2022年3名, 2023年9名, 査読付き英語論文3編, 査読付き日本語論文2編, 学会発表8演題と十分な成果を得られたと考える。各研究会からの要望, 質問について, 交通費は支給できる。保険に関しては確認中—(西出)乳房研究会は運搬, 使用に関して毎回都度都度保険に入っている。どのような保険かは確認 (西出)コンテンツを買い取りのような形で報酬を支払うなどできれば。 (西出)ワカサボなどの企画を総会学術大会などで報告してもらえるか—(大橋)参加者のほうが良いのでは?いずれにしても可能である。 (山田)総務委員会での案から研究会の開催番号を通算表記にしたほうが良いとの流れがあったがなかなか過去の資料を確認しても通算回数を確認するのは難しかった。—(國友)せっかくの実績をより表現できると思うので, 完全に正確でなくてもよいと思うので, 東海と北陸が合併した中部支部からチーム中部を確認しつつ, お願いしたい。—(山田)次回理事会等に向けた資料から通し番号表記とする。多少の誤差は許容。</p> <p>(嶋田)CT 研究会 最前線の日程決定した。7/4(木)夜 (嶋田)CT 研究会 11/23 北陸ブロック定例会 (東出)画像研究会 71回をブルドルとする。それに伴い 9 月の研究会を72回, 11月の研究会を73回へ変更 (石崎)アンギオ研究会 今までの動画等を何かの形で共有できる企画を行いたい</p>
<p>議題 6</p>	<p>編集委員会報告 (高田副支部長→大橋支部長) (資料 6_1, 資料 6_2) 6.1 支部 HP 改修について 資料の通りに大橋支部長より報告がされた。 本部の担当者も代わり, 流動的ではあるが, 作業を進めていく。スマホ対応も予定している。</p> <p>《質疑等》 (國友)スクロールしても中部支部が消えないようにしてもらいたい。統一デザインの範囲内だがここは変更していただかないと, どの支部か分かりにくい。—(大橋)明日の支部長会議で各支部の状況を確認する。</p>
<p>議題 7</p>	<p>個人情報保護について (大橋支部長) 本部から送られてきた個人情報保護台帳を入れたので記載をお願いします。 DLした個人情報をどのように使ったかを記載する形だったので, セミナー参加者数の確認等は記載不要と考える。台帳の確認などが監査の対象となっているため必ず記載をするように。</p>

	<p>《質疑等》 特になし。</p>
議題 8	<p>その他 (西出)8/16,17 でマンモグラフィ講習会行う。このような形式の講習会はこれが最後。今後は支部での開催という形式となる。講師は西出理事が担当する。 (石崎)支部に web セミナー用にビデオカメラを購入していただきましたので、必要な研究会があれば郵送等対応します。セミナーへも出張しハイブリッド環境も構築します。 (大橋)代議員選挙の投票をお願いいたします。 (大橋)JIRA のテクニカルレポートを本日の支セミナーで配布。各研究会で必要ならば持って行ってください。</p> <p>次回 2024 年度 第 3 回日本放射線技術学会中部支部総務委員会理事会は 9/21 (土) 金沢駅前 TKP 新幹線口開催予定 13 時総務委員会, 15 時理事会予定。3 連休初日であり、宿泊が必要な方は早めに宿の確保を。</p>

上記報告内容において相違がないことを確認した。

2024 年 5 月 31 日

支部長  

2024年 9月 25日

報告書・議事録

公益社団法人 日本放射線技術学会中部支部長 殿

会議名	2024年度 第3回日本放射線技術学会中部支部理事会		
開催日時	2024年9月21日(土)15時10分～17時15分	開催場所	TKP 金沢新幹線口会議室 会議室3A
出席者名	出席者:大橋一也、國友博史、高田忠徳、木戸屋栄次、小林謙一、山田薫、加藤勝也、廣田真、西本卓矢、山崎暁夫、野村孝之、白崎展行、上野博之、西出裕子、石崎宗一郎、市川肇、小島礼慎、小山修司、松浦幸広 合計19名 欠席者:永澤直樹、嶋田真人、能登公也、三浦淳也、村中良之、法橋一生、東出了、山村博 合計8名 支部長指名出席者:高木雅悠 合計1名		
議長・司会	國友博史	報告者名	山田薫
議題(項目のみとし、審議内容および結果については2号用紙に記入する)			
議題			
1	本部理事会報告		
2	2024年度事業報告・事業計画		
3	第58回中部支部学術大会(第16回中部放射線医療技術学術大会)準備報告		
4	財務委員報告		
5	学術委員会報告		
	5.1 2024年度 第2回支部学術セミナー		
	5.2 2024年度若手育成セミナー 受講者の進捗について(理事会のみ)		
	5.3 研究会開催予定(理事会のみ:各研究会代表)		
	5.4 CT technical boot campの開催報告		
	5.5 2025年度活動計画(学術委員会・研究会)の作成について		
6	2024年度中部支部表彰		
	6.1 功労賞候補者		
	6.2 奨励賞候補者		
7	2024年度支部年会について		
8	広報編集委員会報告		
	8.1 ビーム中部プログラム号編成について		
	8.2 支部ホームページ		
	8.3 入会促進企画		
9	2025、2026年度 中部支部役員(支部長、監事)意向調査について		
	9.1 意向調査結果報告		
	9.2 2025、2026年度年度役員体制について		
10	RacNe アクセス権限の変更による運用方法について		
11	その他		

<p>議題 1</p>	<p>本部理事会報告（西出理事）（資料 01） 資料の通りに西出理事から報告がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部財政状況について報告あり。本部事業の収支バランスが悪い。 ・2024 年度日本放射線技術学会役員候補者 選任総会の開催について →会のスムーズな運営のために 2 年前に行った改定が内閣府から指摘があったため、元に戻す（代表理事選定規程の改訂について） ・2025 年度市民公開シンポジウムは防護部会による「みんなで学ぼう 放射線をあやつる診療放射線技師」が選考された。 ・秋季学術大会運営費限度額設定について(4,300 万以内とする) ・JJRS を利用した現地参加登録について、当日の現金払いに対応できるようになった。 ・専門部会の構造改革について、2026 年度より 4 つの部会に再編する案あり。 ・技術会雑誌の論文の部分を電子化し、費用を抑える。JRC の予稿集は完全電子化。 ・放射線医療技術学叢書類発刊に関する規程の改訂について、叢書類の特価対応はひとり 5部まで。教科書として使用するための大量購入はシラバス等の提出を求める。 ・来年度 第 53 回秋季大会は 10/17-19 札幌にて <p>《質疑等》 (西出)部会は研究学術を、教育は支部でという方針。 -(國友)中部支部は非常に活発に各モダリティで研究会を行っているので、このままより発展的に行っていきたい。 -(大橋)中部支部では新たにデータサイエンス研究会を設立していきたい。</p>
<p>議題 2</p>	<p>2024 年度事業計画(大橋支部長)(資料 02) 資料の通りに大橋支部長から報告がされた。 第 9 回 技術セミナー(第 60 回乳房画像研究会)は中止となる見込みのため、通し番号が変更になる。</p> <p>《質疑等》 特になし。</p>
<p>議題 3</p>	<p>第 58 回中部支部学術大会(第 16 回中部放射線医療技術学術大会)準備報告(廣田理事) (資料 03-1~2) 資料の通りに廣田理事より報告がされた。 テーマ:技術の革新と叡智の伝承 -放射線医療の新たな使命- 会 期:令和 6 年 12 月 7 日(土)・8 日(日) 会 場:じゅうろくプラザ 岐阜市橋本町 1 丁目 10 番地 11</p>

	<p>大会長:加藤秀記(第 32 回中日本地域放射線技師学術大会大会長) 中津川市民病院 副大会長:廣田真(第 58 回日本放射線技術学会中部支部学術大会大会長) 岐阜大学医学部附属病院</p> <p>若手入会促進セミナー(JART/JSRT 若手支援企画) 放射線技師によるコスト管理(CCRT 企画技師会主催) 特別講演 松尾先生 内容は治療または MRI 一般公開講座 初の試みとして、超音波やワークステーションを使って体験型で行う。</p> <p>ランチョン土曜3社, 日曜4社 12/7 中部支部理事会 ※8:45 解錠時より開始. プログラム上 9:00-9:30 と記載されている 中部支部理事会の集合場所はじゅうろくプラザ2階入り口. 12/7 17:10-17:40 中部支部年会 ※準備でき次第開始 12/7 18:30-20:30 意見交換会 (80 名程度) 場所:洋風居酒屋ルベッタ 岐阜玉宮店 4,000 円程度 一般演題座長について強い推薦があれば連絡希望.</p> <p>《質疑等》 (國友)理事会が 12/7 朝からなので遠方の方は前泊が必要となるため各自確保を. 前泊分は支部で支給予定. 後日出欠等確認あり. (上野)座長について例年はリストを提出しているが, 今年度は不要か? - (廣田)愛知大会, 福井大会のリストは手元にあるのでそれも参考して行う予定. 今年度は不要. 推薦は別途受けつける. (大橋)石田代表理事が理事会へ参加される予定か確認をお願いしたい. - (西出)確認する. (國友)支部年会は参加可能か. - (西出)確認する.</p>
<p>議題 4</p>	<p>財務委員報告 (小林財務) (資料 04-1-1~3) 資料(資料 04-1-1)の通りに小林財務より報告がされた. 3 月の補助金等収入欄の 3,700,000 円は本部への振り替え分</p> <p>資料(資料 04-1-2)の通りに小山監事より会の執行, 中間監査について適切に運営がなされていると認められるとの報告がされた.</p> <p>資料(資料 04-1-3)の通りに小林財務より報告がされた. 会員への謝金は禁止であるため, 講師を依頼する際は確認を行うこと.</p>

	<p>担務等を研究会のお知らせにも可能な限り記載のこと。(財務確認のため)</p> <p>領収証の不備について、普通のレシートではなく宛名書き、但し書きのできる領収証が必要。(レシートタイプでも領収証を発行してもらうことができる)</p> <p>研究会の口座について、管理者不明のようなものが発生しないように、引継ぎ、解約等整理していく。</p> <p>《質疑等》</p> <p>(國友)本部への振り替えがあったが、支部運営的に事業縮小するなどの配慮が必要か？</p> <p>－(小林)問題ないので、今まで通り活発な研究会活動をお願いしたい。</p> <p>(市川)講師確認に不手際があり、ご迷惑おかけしました。</p> <p>(石崎)会場施設の人(臨時補助員)への領収証は外税？</p> <p>－(小林)謝礼は外税。但し書きに会場係、受付係等の記載が必要。今まで通りの書式を使って作成。非会員の交通費支給には公共交通機関が発行する領収書が必要。</p> <p>(國友)web での注文等で発生した請求書等の書類の扱いは？</p> <p>－(小林)電子発行されたものも財務まで提出。</p>
<p>議題 5</p>	<p>学術委員会報告(永澤副支部長)(資料 5)</p> <p>5.1 2024 年度 第 2 回支部学術セミナー(資料 05-1)(山崎理事)</p> <p>日時:2025.01.11 PM 開催形式:現地&web</p> <p>場所:三重県松阪市 フレックスホテル 2F 中宴会 (スクール形式 72 名迄)</p> <p>寺本先生にはすでに依頼済み。</p> <p>5.2 2024 年度若手育成セミナー(資料 05-2-1)</p> <p>(受講者の進捗:各研究会代表)(資料フォルダ 05-2-2)</p> <p>5.3 研究会開催予定(各研究会代表)(資料フォルダ 05-3)</p> <p>5.4 CT technical boot camp の開催報告(高田副支部長)(資料 05-4-1~3)</p> <p>ひとり PC を持参しない参加者あり。RacNe に登録しているメールが普段使用していないものようで連絡が取れなかったことが原因？事前にアナウンスはしていた。</p> <p>5.5 2025 年度活動計画(学術委員会・研究会)の作成について(大橋支部長)</p> <p>資料の通りに各担当から報告がされた。</p> <p>《質疑等》</p> <p>(石崎)広報の仕方に工夫をしていただきたい。HPとメルマガだけでは不十分。なるべく締め切りを開催ぎりぎりまで伸ばしていただけるとよい。</p> <p>(西出)ワカサボ対象者の発表は技術学会のみか？</p> <p>－(大橋)技術学会、もしくはそれ以上に規模の大きな学会発表を目指していただきたい。</p> <p>(國友)科研費の取り方の指導等対応できるか、必要か。前年度の受講者指導者間でメールの</p>

	<p>やりとりが百数十回に及んだなどの事例あり。指導者側がサポートする範囲などの枠を設定し、断れる理由を作って守ってあげられるようにしたい。</p> <p>－(大橋)電話が頻繁にかかってくるなどの事例もあった。メールまでにしておきたい。</p>
<p>議題 6</p>	<p>2024 年度中部支部表彰 (加藤庶務) (資料 06)</p> <p>資料の候補者より表彰者の選定を行った。</p> <p>6.1 功労賞 3名</p> <p>木戸屋 栄治 (福井大学医学部附属病院放射線部)</p> <p>村中 良之 (福井県立病院放射線室)</p> <p>能登 公也 (金沢大学附属病院放射線部)</p> <p>6.2 奨励賞 9名</p> <p>平井 健太 (静岡県立総合病院放射線技術室)</p> <p>大澤 充晴 (愛知医科大学病院中央放射線部)</p> <p>溝口 直洋 (福井県立病院放射線室)</p> <p>中山 僚 (静岡県立総合病院放射線技術室)</p> <p>木寺 信夫 (名古屋市立大学病院診療技術部放射線技術科)</p> <p>吉田 将人 (市立四日市病院放射線部)</p> <p>加藤 裕 (名古屋大学医学部附属病院医療技術部放射線部門)</p> <p>長宅 祐哉 (藤田医科大学病院放射線部)</p> <p>別所 貴仁 (金沢医科大学病院)</p> <p>特に異論なく功労賞、奨励賞が承認された。</p> <p>《質疑等》</p> <p>(國友)ワカサボ案件の表彰は本部の論文支援功労賞のようなものを新設してから表彰したほうが良い。論文のみに絞りすぎないように学術支援賞のような名前で行う配慮を。支援者の支援範囲を明確にしてあげて負担が無限にならないようにしていきたい。</p>
<p>議題 7</p>	<p>2024 年度支部年会について (高田副支部長) (資料 07)</p> <p>2024 年 12 月 7 日 17 時 10 分～17 時 40 分</p> <p>じゅうろくプラザ 第 1 会場</p> <p>進行：國友副支部長</p> <p>挨拶：中部支部支部長 大橋 一也</p> <p>挨拶：本部代表理事 石田 隆行</p> <p>意向調査：江口佑太意向調査委員長</p>

	<p>表彰：功労賞，奨励賞 支部事業報告・事業計画報告：永澤副支部長 その他</p> <p>《質疑等》 （高田）石田代表理事に支部年会でのご挨拶をお願いしたい。（西出先生に依頼） （加藤）支部年会表彰で使用する表彰盆の準備を CCRT 側に依頼。アシスタントは國友先生が選任。</p>
議題 8	<p>広報編集委員会報告（高田副支部長）</p> <p>8.1 ビーム中部プログラム号編成について 8.2 支部ホームページ（資料 08-2-1～3） 8.3 入会促進企画（資料 08-3-1～3）</p> <p>資料の通りに高田副支部長より報告がされた。</p> <p>《質疑等》 （西出）最近では PC より携帯アプリでの閲覧が多いので、インスタなど携帯での閲覧を意識する必要がある。</p>
議題 9	<p>2025、2026 年度 中部支部役員（支部長、監事）意向調査について（大橋支部長） 資料に基づいて、江口意向調査委員長の代理として大橋支部長から報告がされた。</p> <p>9.1 意向調査結果報告（資料 09-1） 9.2 2025、2026 年度年度役員体制について</p> <p>理事・研究会代表（HP 掲載者）の交代がある場合は次の理事会までに理事メールで連絡する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県理事 村中先生→立石先生 ・岐阜県理事 廣田先生→未定 ・庶務 能登先生→未定 <p>《質疑等》 特になし。</p>
議題 10	<p>RacNe アクセス権限の変更による運用方法について（資料 10） 資料の通りに大橋支部長から報告がされた。 本部からの通達では当初 2 名であったが、4 名への増員が認められたため、支部長、副</p>

	<p>支部長 3 名に権限を付与する。 現在本部から切り替えの通達はなく現在はアクセス可能である。通達があるまでは従来通りアクセス履歴台帳に入力する方法で行う。 石崎理事作成の Googleform でのイベント登録が完成すれば多少負担は軽減されるか。</p> <p>〈質疑等〉 (石崎) RacNe で登録はしたが決済していないなどということもあるのでそういった場合の対応なども大変。</p>
議題 11	<p>その他 (山崎) 次年度 CCRT (三重県) の開催日程は決定している。 →後日理事メールにて報告。</p> <p>〈質疑等〉 特になし。</p> <p>次回理事会を CCRT 会期中 12/7 (土) 岐阜市にて行うことを確認し、理事会は終了。</p>

上記報告内容において相違がないことを確認した。

2024 年 10 月 7 日

支部長 大橋一也 

公益社団法人 日本放射線技術学会中部支部会誌 vol.27

2025年4月発行

発行者：支部長 大橋 一也

編集：副支部長 高田 忠徳

理事 山田 薫，西本 卓矢，野村 孝之

事務局：〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

藤田医科大学病院 放射線部内

TEL: 0562-93-2111

URL <https://jsrt-chubu.org/index.cgi>